第15回 生物科学セミナー

Faculty Seminar of Biological Sciences

日時: 2025年6月13日(金曜日) 17:00~18:30

会場: 理学部5号館 3-301室

『動物行動学者の「行動」学』

What it means to be an animal behavior researcher

講演者: 相馬 雅代 Dr. SOMA, Masayo

(理学研究院・生物科学部門 教授)

動物行動学というのは、生き物のふるまい(behavior)の「なぜ」を理解しようとする学問です。「なぜ」を理解するには、至近要因および究極要因の双方からの理解が不可欠です(と、生物学の教科書には書いてありますね?)。一たとえば、「私はなぜ動物行動学の研究者になったのか?」という問いであれば、至近要因として生い立ち・経歴、究極要因として学問/研究者としての至高の目的をお答えすることができるかもしれません。本セミナーでは、そのような意味で、動物行動学者を動物行動学的に解剖して紹介する、ということを目指します。同時に、私がこれまで研究してきた、鳥類のコミュニケーション行動・社会性・性淘汰形質の進化がなぜ面白いのか、ダイジェストでおみせできればと思います。

The field of animal behavior aims to answer why specific organisms, whether individuals or species, exhibit certain behaviors by examining both proximate and ultimate factors. In this seminar, I will use these perspectives to explore the question, “Why do I choose to live as an animal behavior researcher?” I plan to discuss my personal development and life history as a proximate factor, alongside my highest aspirations as an ultimate factor. Additionally, I will introduce some core research topics that have fascinated me throughout my life, including the evolution of communication behaviors, sociality, and sexual signals.

生物学で今、何がおもしろいのか? 研究室の先生は何を考えてサイエンスをやってきたのか、今何を面白い・知りたいと思っているのか? 日頃の講義では話し切れないことを聞けるセミナーを目指しています。生物科学に関心がある人は誰でも参加可能です。学生の皆さんも(学年は問いません)、もちろん大歓迎です。